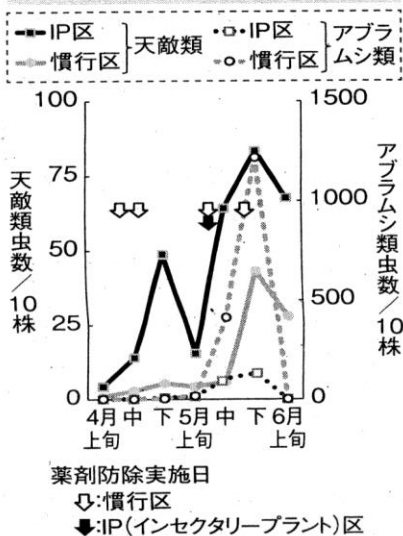


# 農業技術 プリズム

環境保全型農業の一つとしてインセクタープラントを活用した害虫管理技術が注目されています。インセクタープラントは、害虫の天敵へ餌となる花粉や蜜を提供し、すみかにもなる植物のことです。そこで、バレイショ栽培における農薬散布回数を減らすた

## 春作バレイショ栽培におけるインセクタープラントのアブラムシ類、天敵類の発生消長に及ぼす影響



## インセクタープラント活用

# バレイショ殺虫剤 散布回数が半減

め、インセクタープラントを活用した害虫の防除体系技術の開発に取り組みました。

試験は、インセクタープラントとなるヘアリーベッチとヒメワタレソウをバレイショ圃場(ほじょう) 13×30畝の長辺に幅2畝で植栽し、天敵類に影響が少ない農薬を用いて栽培しました。

その結果、テントウムシやゴミムシ、クモなどの土着天敵類が定着・温存され、春作ではアブラムシ類、秋作ではチャヨウ目の密度が抑制できました。また、殺虫剤の散布回数は、慣行栽培に比べて半減できました。

この結果は「暖地二期作バレイショ栽培におけるインセクタープラントを活用したIPM防除マニュアル」としてまとめ、農林技術開発センターのホームページ(<https://www.prief.nagasaki.jp/e-nourin/nougi/>)で公開しています。  
 (長崎県農林技術開発センター 農産園芸研究部門馬鈴薯研究室主任研究員 川本旭)